

病院ボランティアの会

ていつ人だより

No.31
発行責任者
総務課
令和3年4月発行

病院ボランティア「ていつ人」の皆さまにはいつも大変お世話になっております。令和2年度の活動については、新型コロナウイルスが発生したため、例年通りの活動ができません状況でした。今年度の活動は、感染対策を取り、屋外作業を中心に活動を行います。皆様のご協力をお願いいたします。さて、今回の「ていつ人だより」では令和2年6月に行った除草作業、令和3年1月に行った大東高校生による車椅子清掃、令和3年3月にありました「上手な医療のかかり方アワード」受賞、正面エントランスの自動精算機受付ボランティアについてご紹介します。

6月 除草作業

6月の美化作業は、病院周辺の除草作業を行いました。皆さん日々の作業と言う事もあり一生懸命除草作業をしておられました。皆さん作業の手が止まらず、芝生だけで終わらず正面ロータリーの花壇や駐車場わきの畑の雑草も取っていただきました。



1月 高校生によるボランティア

1月21日(木)には、地元の大東高校生が院内の清掃ボランティアにきてくれました。感染対策をきちんと取り、車いすの点検清掃・外来長椅子を除菌ペーパーで拭き取る作業をしてもらいました。作業に来た学生たちは、コロナ禍で医療機関には大変な負担がかかっている、少しでも手伝いができればと思いいボランティアに来たと話していました。



正面エントランス 自動精算機受付ボランティア

現在、正面玄関での車イス介助ボランティアを感染予防の観点から活動を休止させていただき、代わりに正面エントランスにあります自動精算機の受付補助のボランティアを行っていただいています。ていつ人の皆さまが、受付補助に立たれるようになってからお薬引換券の取り忘れが減り、患者様からは、代わって操作してくれるので助かるといった感謝の声を聞きます。

今後はこの自動精算機受付ボランティアを続けていきたいと思います



3月 上手な医療かかり方アワード受

3月10日（水）に「がんばれ雲南病院市民の会」「病院ボランティアの会 てごっ人」が第2回 上手な医療のかかり方アワードを受賞されました。

この賞は、厚生労働省で、平成30年度に「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」の開催があり、「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト宣言がなされました。

矢壁さんによる事例発表



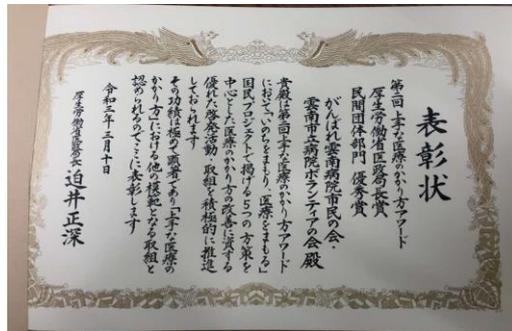
表彰式の様子



その後、病院・診療所にかかるすべての国民の健康を守ることに、日夜力を尽くす医師、医療従事者のために、「上手な医療のかかり方」プロジェクトが開始され、その一環として、国民プロジェクトで掲げる5つの方策を中心に、医療のかかり方の改善に資する優れた取り組みの奨励・普及を図ることを目的に「上手な医療のかかり方アワード」を開催し、優れた啓発活動や取り組みを行う団体を表彰するものです。

3月30日には「がんばれ雲南病院市民の会」加藤会長、「病院ボランティアの会てごっ人」石川会長・矢壁事務局長の3人が石飛雲南市長に受賞の報告に行かれ、石飛市長より労いの言葉を頂きました。

上手な医療のかかり方アワード賞状



今後の作業予定

- 5月の作業は、市内でコロナ患者発生のため中止します
- 6月 車イス点検・補修
- 7月 病院裏山の草刈り
- 8月 七夕飾り・スイカ提灯取り付け

6月からの作業は、感染対策をしっかりと取り作業を行う予定です、日程については後日改めてご案内いたします。